

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	小島 正憲	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅰでは、幼児・小学生を対象にした体育の基礎知識を学ぶことである。特に、年齢の発育に合わせた運動あそびや授業内容を考案し、指導案の作成や模擬授業をすることで指導力を身に付ける。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	基本は対面授業を実施する。加えて、授業内容に応じて演習形式の授業も取り入れ、ディスカッション及びグループワークをする。また、学んだことや作成した資料については、積極的に発表する時間を設ける。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	受講に関する諸注意、学習の進め方、幼児体育とは？また、簡易的な自己紹介をする。	<input type="checkbox"/>
第2回	子どもの生活と運動について	心地よい空間、ガキ大将の役割、運動量の確保について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第3回	子どものからだの異変とその対策について	遅い就寝、生活リズムに乱れ、増える体温異常について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第4回	幼児期における運動の必要性について	午前のおそび、午後あそびのススメについて学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第5回	幼児期における運動の役割と効果について	身体的発育の促進、運動機能の発達と促進、知的発達の促進について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第6回	幼児体育の意義と役割について	幼児体育のねらい、幼児体育の指導法と指導内容について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第7回	小テストとその振り返り	小テストを実施（詳細は授業の際に通知）し、テスト後は回答とその説明を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	乳幼児期の発育と運動発達について	身体各部の発育プロセスと均衡の変化について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第9回	幼児期の運動能力と運動スキルについて	運動スキルと運動時に育つ能力について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第10回	発達障がい児の運動指導について	身体意識を養う、平衡感覚、多動性について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第11回	安全と応急手当について	応急処置の基本と実際について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。	<input type="checkbox"/>
第12回	体育あそびの指導計画と学習指導案の作成①	学習指導案の機能、学習指導案の例、学習指導案の作成について学ぶ。また、学習指導案の作成をする。	<input type="checkbox"/>
第13回	体育あそびの指導計画と学習指導案の作成②	前回から引き続き、学習指導案の作成をする。また、作成した学習指導案は、ゼミ内で発表する。	<input type="checkbox"/>
第14回	小テストとその振り返り	小テストを実施（詳細は授業の際に通知）し、テスト後は回答とその説明を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のまとめ	授業全体の振り返りをし、課題の提出（学習指導案）する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前指導として、幼児体育及び学校体育に関連する文献及び論文を調査すること（毎週2時間）。また、事後指導として、各回の講義で配布した資料、内容を整理しておくこと（毎週2時間）。具体的には、各回で必要とする資料や課題等の準備物「テキスト・参考文献・web調査・

研究室訪問」を活用し、質の高い内容に仕上げる。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題については即時に教員がチェックし、改善点を指導する。また、その改善点についてはゼミ内全体に情報共有できるよう適宜学生に伝える。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる幅広い知識を習得しながら、幼児体育の専門的な知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	幼児体育を中心に関連する文献調査やWEB調査をし、情報リテラシーを駆使しながら自身の考えを持って発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	幼児体育における専門知識をもとに、多角的で客観的な視点を持って問題を的確に判断し、解決することができる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価の内訳は【幼児体育の小テスト：60%、学習指導案：40%の計100%】とし、全て授業内に実施する。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前橋明、幼児体育理論編、大学教育出版	978-4-86429-427-0
2	前橋明、幼児体育実技編、大学教育出版	978-4-86429-434-8
3	世界思想社編集部、大学生 学びのハンドブック(4訂版)、世界思想社	978-4-7907-1707-2
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	石井一成、ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方、ナツメ社	978-4-8163-5057-3
2		
3		
4		
5		